

中学校入学生を持つ保護者の皆様へ

学校から発信する家庭教育支援に関する研究会

千葉県教育委員会・市原市教育委員会

1 思春期の特徴をよく理解し、お子様を温かく見守りましょう！！

青年期前期にあたる中学生という時期は、子どもが大人へと成長する過渡期で思春期といわれます。個人差はありますが、思春期の特徴は次のようにまとめられます。

心とからだの成長がアンバランスになりやすい時期です。

第二次性徴が始まり、からだの著しい変化に戸惑いながらも大人になっていく自分を自覚していく時期。その反面、大人の世界に入ろうとしているという不安、葛藤などで心理的に不安定になりやすい。

親離れが進む時期です。

親からの自立という心理的離乳が進む時期。親への依存度が減り、自分自身の考え、判断で行動しようとしそれを押さえられる反抗的な態度にでることがある。

思春期

自意識を高め、自分探しをはじめる時期です。

自分の心の中の世界に目を向けるようになり、自意識に目覚めてくる時期。周囲の仲間や大人と自分を比較し、望ましい、望ましくないという意味づけ、価値づけをするようになり、劣等感や自己嫌悪感を抱きやすい。このように「自分はどのような人間か？」と自分探しを始めるが、不安定な気持ちでいつも揺れ動いている。この心の不安は「自我の確立」を図っているからである。



2 学校から発信される「家庭教育支援資料」を積極的に活用し、子育てに生かしましょう！！

本研究会では、家庭教育支援に役立つものとして次の10の内容の資料を作成しました。お子様の入学後、学校側より各家庭に適宜配布されます。家庭教育の一助としてぜひご利用くださるようお願いいたします。

予想される子育ての悩み
10

- ①親子のコミュニケーション
- ②学習成績と進路
- ③安全な生活（交通安全・不審者等）
- ④携帯電話を中心としたメディアの活用
- ⑤心の成長と家族
- ⑥友人関係
- ⑦言葉遣い
- ⑧食生活
- ⑨部活動
- ⑩思春期の心と身体、異性と性

